令和７年度　群馬県立渋川特別支援学校　学校経営グランドデザイン

家庭・地域から信頼される魅力ある学校づくり

【学校教育目標】　小学部から高等部までの各発達段階や生活年齢、ニーズなどに応じた個別目標の達成を図り「自分の力を出し切って力づよく生きる子ども」を育てる。

〈校訓〉明るく　つよく　のびのびと

《小学部》	《中学部》	《高等部》	《訪問》	《寄宿舎》
○自分の力を発揮し、いきいきと活動する子どもを育てる。	○自分の役割を自覚し、目を輝かせてものごとに取り組む子どもを育てる。	○進路目標をもって学習に取り組み、努力することの喜びを味わえる人間を育てる。	○自分の意思で動作・行動でき、様々な手段を使って他人とのコミュニケーションを育てる。	○将来の生活を考え、自分でできることを増やすために努力する人間を育てる。

《目指す学校像》

- 安心して生活できる安全な学校
- 学ぶことが楽しく子どもたちの笑顔がかがやく学校
- 保護者・地域の方々から信頼される開かれた学校
- 自立と社会参加を目指し、個のニーズに応じた教育を推進する学校

《目指す教職員像》

- すべては子どものために
- あたたかく、思いやりにあふれた教職員集団「チーム渋特」
- ベテランも若手も、助け合いながら、学び合い高め合う、明るい教職員集団
- 接遇（来校して気持ちのよい学校。気持ちのよい応対・電話応対。傾聴の姿勢。）
- 服務規律の確保（個人情報保護、交通事故・違反の根絶、適切な指導、金銭管理等）

《　国・県の方針　》

・学習指導要領・群馬県教育振興基本計画・群馬県教育委員会運営方針・群馬県特別支援教育推進計画・学校教育の指針・指導の重点等

明るく

《安心・安全であたたかな環境づくり》

- 健康教育の推進
- 感染症やアレルギー対応・医療的ケア・給食・スクールバス等の安全で確実な実施
- 緊急時に向けた組織的な対応の徹底
- 安心して気持ちよく学べる校内環境の整備
- 教職員の人権感覚の向上
- 「いじめ防止基本方針」に基づくいじめを許さない学校づくり
- 児童生徒の少しの変化も見逃さないあたたかな教師の眼

つよく

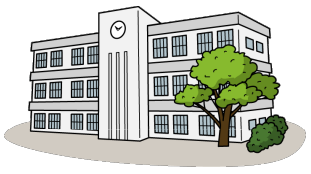
《日々の授業の充実》

- 義務教育９年間、高等教育３年間の１２年間を見通した系統的な指導
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善
- 的確な実態把握とねらいの明確な授業
- 学ぶ楽しさ・できた喜びを実感できる授業づくり
- ＩＣＴを活用した効果的な授業の推進
- 教員の専門性・指導力の向上
- 教職員のキャリアステージに応じた研修とＯＪＴの充実
- 外部の専門家の活用

のびのびと

《共生社会の実現》

- 計画的・効果的な学校間や居住地校との交流及び共同学習の実施
- 地域交流の充実
- 社会性や豊かな人間性の涵養
- 学校支援ボランティアの活用



保護者・地域とともにある社会に開かれた学校

- 児童生徒の自立に向けた保護者や関係機関との緊密な連携
- 基本的な生活習慣・生活自立に向けた指導
- 地域資源の活用
- 通信やＨＰ等での教育活動の積極的な情報発信
- 「キャリア教育全体計画」に基づくキャリア教育・進路指導の充実
- 専門性を生かしたセンター的機能の強化

教職員の多忙化解消

- 働き方改革（効率よく質の向上・ワークライフバランス）
- 助け合える風通しの良い環境
- 業務改善・既存の業務の見直し
- 快適で効率的な環境での業務

　　５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・躾）

- ＩＣＴ活用による業務の効率化